

「介護の日」作文応募用紙

氏名	フリガナ ヒラノ / サリ	住所
年齢 (学年)	19	電話番号
職名	19	学校名 職業
題名	ありかとう	介護職

就職を控えた高校三年生の時、夢もやめた
 い仕事もありませんでした。しかし、自分の
 中で一つ変わらないう思いがありました。それ
 は、誰かに何かしてあげたいと思っただのが介
 護士になろうと思っただきかけです。
 何も分からず介護という仕事に就き不安で
 いっぱいでした。想像をはるかに超えること
 こそ大変な仕事だと気がきました。社会人に
 なり、70レツシヤもありません。早く仕事を覚え
 なければ周りの職員にも利用者様にも迷惑を
 かけないようにしたい焦りました。たくさん
 のことに悩む日々が続いていました。そんな
 時にある利用者様の言葉が救われました。
 その言葉は、
 「いっつも面倒みなくてあげよう。私はいい
 つも孤独だと思っただけだよ。あなたが
 れるから、私はこうやってほまいられる。
 と涙ながらに感謝の気持ちや伝えたいま

した。誰かに何かしてあげて感謝される喜びを感じました。介護職に就いて始めてうれしさを感心いた瞬間でした。そしてこの施設で過ごされるようにはサホートや空間が出来るようと思えるようには思いました。に私も頑張ろうと思いました。時が経つにうれ命の重みというのを改めて実感する時が何度かありました。前の日まですぎく元気だったのに。そう思う時が時々あります。ありがとうございました。社会人になつて始めると味わつた感^覚でした。最後の時に立ち会える機会はとても少なくす^ぎく大切な時間でもあると思えます。利用者様が今までのどのような生活を送つてきたのか、その生活によりどうした介護を全か^がサホートにしたかと思ひました。日々^トの生活を通して私が利用者様に元気を与えると同時に、利用者の突顔でも元気をもらつています。自分の人生にとっても大切な経験です。これからもうた^こくさんの人に感謝されるよう頑張りたいです。立派な介護士になれるよう頑張りたいです。